

第5回 ACP ノート実践研修会

わたしの心づもり～ACP ノートで実践してみよう～

〈日 時〉令和8年1月25日(日) 9:00～12:00



当日振り返り(令和8年1月25日 12:00～12:30)

- ・ロールプレイや、振り返りは特に問題なかった。資料を持ってきていない方がいた。途中まで気づけなかった。事前に確認する必要がある。(久保)
- ・グループ内は特に問題なかった。パネリストとしては、普段自分が感じていることを伝えられたため、満足している。(山根)
- ・日ごろから言葉選びが上手なのか、柔らかい言葉で進められていた。振り返りの中で、「9つの項目」の不安について質問した際、それについての回答がされてなかったり、人生の最終段階の話し合いについて心の準備が出来ている設定であるにも関わらず、病状について尋ねると、本人役の人から「まだ今後良くなると思う」という発言があり、困っていた。「最善を期待しつつ最悪に備えましょう」という内容でロールは乗り切ったかに思われたが、振り返りの時には「自分の病状は今後どんどん悪くなるのか思うと不安になった」というような内容を話され、「心の準備状態の大切さ」を認識してもらえるように働きかけた。ロール後の振り返りの中で、もう少しポイントについて話し合いができる時間があればより深まるのではないかと感じた。(衣笠)

→設定の問題かもしれない。再度確認が必要。(足立)

・寺岡先生を中止に、進行もスムーズだった。振り返りも皆さんがポジティブフィードバックをされていて、とても良い雰囲気だった。(幸山)

・ACP は結構ハードルが高いと感じた。まずは、本人や家族にリラックスしてもらうことが大切。代理意思決定者を(信頼できる人を)奥さんに決めているにも関わらず、本人の気持ちはよく聞か、奥さんの気持ちを聞いてないように感じた。もう少し積極的に奥さんの気持ちも聞くべきではなかったかという印象。本人の役になった時には「漠然とした不安」がものすごく強く、それが相当なプレッシャーになっている状態での会議であると身に染みて感じた。(寺岡)

・自身は日頃 ACP を実施したことはない。特に医療介護従事者の場合どのような準備が必要なのかという話題があった時に、経験がなくても手順書があれば、まずはそれに沿って実践してみてもアドバイスが出来る。手順書やガイドラインがあれば経験が浅くても取り組みやすいと感じた。グループは特に問題がなかった。(曾田)

・8:00～電話連絡が集中したため、対応しきれず不在着信になってしまっていた。駐車場の雪かきも朝早くに入ってもらえたため、よかった。実施の判断が難しい。当日の緊急連絡先も伺っておいた方が、何かあった場合に安心。(田中)

・当日キャンセルになった方について、再度断りのメールをしようと思う。(國本)

・ステップ3の設定が理解できていない受講生があったため、途中修正した。本人役になると良くしゃべるなと感じた。妻が置き去りにならないようにすることと、腰痛等に対して、ねぎらいの言葉をかけてあげると良いとアドバイスできた。(橋本)

スタッフ振り返り

1. 良くできたと思うこと、このままやっっていこうと思うこと

【ファシリ】

- ・参加者が主体的に参加していたので、過剰に介入はせず見守った。
- ・振り返りの時に‘医療介護従事者役’より出たネガティブな感想に対して、裕次郎さん役やひばりさん役が受けた印象についてフィードバックを求めるなど、振り返りの催促を行えた。
- ・ポジティブフィードバックが行えた。
- ・ファシリとしてグループメンバーに関わる際、手順に沿った形での進行、侵襲的なコミュニケーションなど今回の研修で重視した点を意識しながら関わられたのは良かった。

2. 今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

【ファシリ】

- ・複数グループをファシリ1人で担当する難しさを感じている。困りごとに対応する程度であれば、複数グループ担当でも可能だが、ロールプレイの質を担保するのであれば、1グループにファシリ1人が良いのではないかと感じた。
- ・ステップ3の ACP を行うことに対する前提・意識が参加者間でズレていた部分に気づけなかったため、その際には修正を促す介入を今後は行いたい。

【事務局】

・急なことに対応できるように、受講生にも緊急連絡先を聞いておくこと。開催されるのかどうか皆さんが不安に思われたと思う。

3. 研修参加者にとってよかったと感じたこと

【ファシリ・受講者・事務局】

・ACP の知識や技術を学ぶだけでなく、普段のコミュニケーションスキルを、見直す機会にもなっていたこと。

・「侵襲的にならないよう配慮する」を多くの医療介護従事者に受け取っていただいた。

・同調圧力になっていないかという問いかけで考える機会ができたこと。

・アイスブレーキングで各施設での悩みや取り組みなどを共有できる時間があったこと。

・3人の異なる立場で ACP 作成に参加できることは良かったと思う。

・手順に沿う、侵襲的なコミュニケーションをい意識するなど、重点となるポイントが明確になっているのは良かったと思う。

4. 研修参加者にとって良くなかったと感じたこと

【ファシリ・受講者・事務局】

・天候については参加者も中止なのか、開催なのか不安だったと思うが、こればかりはどうしようもないと思う。

・大雪の中でも参加したいと意欲的な研修者に研修開催できたこと。

・ロールプレイのシチュエーションをもう少し参加者に念押しした方が良かったかなと思った。(心の準備が出来ているという前提)

・もう少しグループワークの時間を確保できて良かったかなと思う。

・全体発表の際、声が小さい方がおられ会場全体に聞こえづらかった。マイクのボリューム等、配慮が必要だった。

5. 研修までの準備に関する感想

【ファシリ・受講者・事務局】

・スタッフの皆さんが、慣れていたので、1回の打ち合わせで十分だった。

・積雪に関する予測、準備が曖昧だった。

・前回も参加させていただいているので、内容把握も昨年に比べてスムーズだった。

・研修の狙い、ステップ3の ACP を行う際のポイントなど重点的に説明してもらえたことで、グループファシリが行いやすかった。

6. 全体的な感想・意見

【ファシリ・受講者・事務局】

・少人数だったため、和気藹々と楽しそうに参加していると思った。

・山根さんの「ステップ3をしようとしているときに、本当に最終段階？まだステップ2では？」が印象に残っている。頑張っってステップ3に向かわなくても、まずステップ2を試みようという、ハードルを下げて向かっていけばいいのではと感じた。

・今回の事例のように、「患者さんの方から話をしたいというケースはなかなかないよな・・・」だから普及啓発を進めないといけないという声も聞かれていた。また、施設でもどう取り組んでいくのか検討しなけ

ればいけないと感じた。

- ・今後も出来る限りスタッフとして参加し、ACP の啓発活動に関わっていきたいです。
- ・特にこの時期の開催は、参加者・スタッフ共に緊急時の連絡先の確認が必要だったと感じた。
- ・ロールプレイでは、役になり切っておられる方もおられ、充実した研修だったと思う。
- ・参加者のロールプレイを見ながら、話し合いの医療介護従事者表情が切だと思った。相手の顔を見て相槌を打ちながら話を聞いたり、柔らかな表情で本人・家族を安心させてあげたり・・・こういう方たちなら自分の思いを親身になって聞いて出さるだろうなと感じながら様子を見させていただいた。